

【鬼村鉱山トロッコ復元プロジェクト】

採掘作業をしておられた方と鉱山の近くにお住まいだった方からお話をうかがいました

3年生が課題研究で取り組んでいる「旧鬼村鉱山トロッコ復元プロジェクト」です。

7月10日（金）、研究をしている機械・ロボット科の2名の生徒が大田市大屋町の「久利・大屋地区多目的交流施設 きすな」にお邪魔し、採掘作業をしておられた方と鉱山の近くにお住まいだった方からお話をうかがいました。最初に生徒から、残存する線路を測定した数値と写真からAIによって復元したトロッコ図、図面、3Dプリンタで制作した車輪についてご説明をさせていただきました。その後、皆様のご記憶から、トロッコのサイズを推定するとともに、細部の構造をご教示いただきました。実際のトロッコはAIで作図したものよりかなり大きかったことがわかるとともに、坑道内を移動させるためにトロッコ上部が狭くなる構造になっていたことがわかりました。実際にお話しを聞いてみないとわからないことがたくさんありました。そのまま再現すると重量物になり、展示しても危険となるので、見えない部分は軽い素材を使って製作する等を検討することとしました。生徒が有する工業技術を用いて、ぜひ、地域に貢献したいと考えています。

お話を伺う間、おいしいブルーベリージュースや昼食をごちそうになりました。お心遣いありがとうございます。

お話をいただいた皆様、ふるさとおにむらづくり実行員会様、松代・鬼村鉱山等調査研究協議会様、久利・大屋地区多目的交流施設きすなの皆様、本当にありがとうございました。

皆様のおかげで、貴重な研究ができることに本当に感謝です。



SNSにも掲載します



@GOTSU_TECHNICAL